

# 西大路幼稚園

日時：平成 18 年 10 月 16 日 (月) 13:00~17:00

平成 18 年 10 月 19 日 (木) 9:00~17:00

場所：日野町西大路47-1

広い原っぱとそばの竹やぶがフィールドです。原っぱには、ドングリがいっぱい落ち、虫がたくさん鳴いています。竹やぶの中は薄暗くとても神秘的です。原っぱでは思いっきり開放され、竹やぶの中ではあそびをたくさん見つけました。

## 「どんぐりころころ」のプログラム

「どんぐりころころ」の歌を物語にして展開していくあそびです。リスやドングリになりきること（「リスとドングリ」のおにごっこ）で、生きものの生活を知るプログラムです。



▲ドングリはリスに捕まったら、池に入ります。

リスに食べられたくないよ。



木につかまって、休憩。



ドングリになって、山から転げ落ちた。



▼リスはドングリを食べ、ウンチをします。そのウンチがドングリの木の栄養になります。

くりかえしやなー。

## 「耳をすまそう、探してみよう!!」のプログラム

虫捕りをしたり、虫の声を聞いたりすることで、虫がどこに棲んでいるのか、なぜ鳴くのかを考えるプログラムです。



耳をすましてみよう。何が聞こえるかな？なぜ虫は鳴くのかな？

男の子が女の子を呼ぶとき！

大変！カマキリがコオロギを食べようとしている。



日が当たると暑いから、すずしいところにかえしてあげよ



草むらでいっぱい鳴き声でしたよ。

虫探し



どうして捕まえたらいかな。



▲虫をなぜもといた場所に還すかということ子どもたちと一緒に考えて見ましょう。

## 「竹やぶ大冒険！」のプログラム

竹やぶに棲む生きものに出会ったり、落ち葉を踏みしめる音や竹の音を聞いたり、竹に登ったり、竹の上を歩いたりすることで、竹は細いけれど強いことや竹やぶにも生きものがいることに気づきます。



葉っぱの下にダンゴ虫がいた。



▲「山の音楽家」に合わせて合奏。竹が楽器に大変身



上はまぶしいね。電気を消して!!

こわくないよ!

ふかふかで気持ちいいよ!

ひげが生えている。



▲チャレンジ



中にかくや姫がいるんとちがう。

## 声

### 参加された先生の

竹やぶの中で子どもたちはあそびをどんどん展開していった。こんなに子どもたち自身でやりたいというイメージをもってあそんでいる姿を始めてみた。

安全面ばかり気にし、守りの保育になっていた。安全すぎたら面白くないことに気づかされた。子どもたちがスリルを味わい、チャレンジしていく姿にいつもと違う面を見た。

保育に自然をどう活かしていけばいいか悩んでいたが、保育に取り入れるきっかけを見つけた。子どもから出た言葉やあそびを保育に生かしていくことの大切さを感じた。

下見でメッセージやねらいを考えると、自然とどういうふうに向き合うかという視点を持つことができた。

保育の仕方、子どもたちに感動を与えることができるようになった。

## Q&A

(解答: 講師 島川武治(しまっち))

**Q:** 捕った虫をもといた場所に還すように指導したいが、どうすればいいでしょう?

**A:** 命のあるものは時間をとって考えることが大切です。3つの方法をとっています。  
①子どもたちに「どうしたい」と問う。いろんな意見が出るが、虫にとっていちばんよい方法はどうかということをおさえる。  
②飼育ケースの中にしばらく置き、「ここに入れておいたら、カマキリが他の虫を食べるけれど、どうする」と問う。  
③感情移入をする。例えば「みんなは教室に一人で泊まれるかな? 飼育ケースの中にいることは教室にずっといることと同じだよ。みんなはできるかな」と問う。子どもたちはたいていわかってくれます。